特定非営利活動法人 ふくおか環境カウンセラー協会 会報

第3号
特定非営利活動法人
ふくおか環境カウンセラー協会
理事長：依　田　浩　敏

環境相談、環境講演会の講師派遣等については
「特定非営利活動法人ふくおか環境カウンセラー協会」に気軽にご相談ください。

◆ 理事長あいさつ

去る５月２９日に総会が開催され、会員２５名体制で平成１６年度が始動いたしました。

今年度は、環境学習・教育の支援（小中高校の総合的な学習や市民団体への講師派遣）、全国都市緑化フェアー市民自主出展参画、環境全般に対する無料相談（インターネットによる相談窓口の開設）、環境省との情報交換会開催、福岡市人工島アイランドシティ照葉の森づくりへの参画、ホームページの作成及び環境百貨店の構築（WEB 上）、地域の市民団体・学校の環境教育・学習支援組織の形成と活動の支援、環境教育・学習支援環境カウンセラー講師人材リスト作成、環境教育・学習の講師として必要な専門知識習得研修会の開催、環境関係研修会・セミナー・懇談会等の案内、環境カウンセラーに関する情報の提供、会報の発行、完全消滅型生ごみ処理器の普及支援（説明会や展示会の実施）など、多様な事業を計画しております。

環境省や福岡県地球温暖化防止活動推進センターなどからの協力要請があったり、他団体の活動に対する後援依頼もあったりするようになってきました。また、NPO 法人環境カウンセラー全国連合会に入会しました。

会員各位には様々な情報を提供して参りたいと思います。事業に関する企画運営については、理事ばかりではなく、皆様の積極的な参加をお願いいたします。

理事長　依田浩敏

◆ 平成 16 年度通常総会報告

去る 5 月 29 日、16 年度通常総会が福岡市中央市民センターにおいて開催されました。

昨年の NPO 法人設立後初めての通常総会で、津田　潔会員を議長に選出し、15 年度事業報告、収支決算報告及び監査報告が行われ満場一致で承認されました。

続いて昨年より 4 件多い 16 年度事業計画、3 割増の収支予算及びより活動の強化を図るため北九州地区担当理事として津田　潔会員の理事就任、市町村へ NPO 団体の登録をする際必要となる支所の設置、NPO 法人全国連合会への加入及び NPO 法で義務づけられている会の公告方法の変更に関する議案が審議され、満場一致で承認されました。また総会に先立ち 16 年度事業計画検討会議（第 2 回交流会）が開催され有益な意見交換が行われました。（事務局）

平成 16 年度環境教育部事業計画及び活動状況

環境教育担当理事
松井　亮二

環境教育部は次の活動方針を設定し、具体的な事業を計画しました、皆様のご協力を御願いします。

１　活動方針

(1)　環境カウンセラーの環境教育・学習の講師や助言活動の場の拡大を図る。
(2)　環境カウンセラーの環境教育・学習の講師活動を支援する。
(3)　環境カウンセラー活動に必要な環境教育・学習及び環境省登録規程等各種の情報を提供する。

２　具体的な事業の計画（前記活動方針の項目順に記述）

(1)　全国都市緑化ふくおかフエアー市民出展及びアイランドシティ照葉の森づくり企画への参画
(2)　環境教育・学習支援カウンセラー講師人材リストの作成及び地域の市民団体、学校の環境教育・学習支援組織の構築と活動の支援
(3) 環境関係研修会、セミナー等の案内及び環境カウンセラー実績等報告書に該当する協会の活動実績及び諸手続等の情報提供

> 参考
> 環境教育部の事業計画は去る 5 月 29 日に開催の通常総会にて承認されています。会員の皆様の積極的な参加、協力をお願いします。（事務局）

トピックス

環境学習担当理事
松井　亮二

○　**第７回福岡県環境教育学会にて協会と環境カウンセラーをＰＲ**

８月７日飯塚市の近畿大学にて開催された標記の学会に、依田理事長と松井理事が参加し昨年に引続き「NPO 法人ふくおか環境カウンセラーの活動」について発表をしました。
合わせて新会員の増加を期待し環境カウンセラーのパンフレット及び募集要綱を配布しました。

○　**環境省主催の「環境省環境教育指導者育成事業検討会」に参加**

環境省と文部科学省が連携して、環境教育・学習の推進に重要な役割が期待される学校教員及び地域の活動実践リーダー等を対象に「環境教育リーダー研修基礎講座」を計画しています。
実施に当たり九州地区の研修プログラムを作成する標記の検討会が設置され、当協会から環境教育担当の松井理事が参加し種々の体験プログラムとその講師に当協会の環境カウンセラーを紹介しました。
12 月上旬に福岡市の近郊にて１泊２日で開催されます。募集が始まり次第ご案内致します。

◆　**訃報**

当協会副理事長　田中雄二郎氏は、去る９月６日にご逝去されました。NPO 法人設立時に準備委員長に就任されるなど当協会の発展にご尽力頂きました。心からご冥福をお祈りします。

活動紹介③

会員の環境保全活動を紹介しています

河野　壽行

（専門分野：大気､水質、環境教育、森林保護、市民活動、地球環境問題、環境全般）

私は 37 年間、県立学校に勤め、平成 9 年 3 月玄界高校長を最後に退職いたしました。この間は、わが国でも高度成長期からバブル経済の崩壊した時期で、大量生産・大量消費・大量廃棄による環境破壊が進行し、人類の存続さえ危ぶまれ、地球規模での環境保全が緊急の課題となっていました。

私は､退職後は､何かささやかなことでも環境保全活動に取り組みたいと思い、在職時から少しずつ樹木について研修をはじめ、退職を期に樹木医資格審査に挑戦して、樹木医の登録を受け、久留米高専で非常勤講師として、将来の工業技術者を目指している学生に生物の授業を通して、環境問題を説きながら樹木医の研修に取組み、この成果を市民レベルの環境保全活動に活かしたいと思い、平成 14 年度の環境カウンセラ―審査に応募し、登録をうけました。

爾来、九州環境福祉医療専門学校で、環境基礎学科「生物」・環境測定技術・環境アセスメント概論を担当し、傍ら、カルチャーセンターの「樹木ウォチング」や北九州都市緑化センターの樹木関連講座等の講師として「樹を観て、樹を識り、樹を慈しむ」をモットーに森林・樹木が果たしている環境保全機能についての市民の意識の高揚や緑化樹の管理技術の普及に取り組んでいます。

活動紹介④

会員の環境保全活動を紹介しています

渡辺　朝子

（専門分野：環境マネジメント・監査、環境教育、自然観察）

サラリー生活（４１年間）に終止符を打ってはや 5 年半の現在は、バラ造りに 1 日の大半を費やし、環境カウンセラーとしては春日市の環境審議会委員、地域の福祉ボランティアなど致しております。これまでの実績としては

＊環境分野における活動

1990 年～1993 年　環境教育の一環として「自然環境ウオッチング」企画運営
（７～８月）　対象：小中学生（健常者）と保護者　日帰り 2 回（1 泊 2 日）

1994 年～1996 年　自然環境観察会として「ふれあいウオッチング」企画運営
（７～８月）　対象：小中学生（障害者・健常者）と保護者　1 泊 2 日・3 回

＊マスコミ関係

1992～1996 年　西日本新聞に 3 回掲載される。タイトル「チャレンジしています」、背振でふれあい（７～８月）ウオッチング」、「川や山で生物観察」1995 年（８月）「背振～」は RKB 毎日放送・テレビ番組「ローカルイベント」として放映される。

＊講演分野における活動

1992 年 10 月　福岡市西区役所：市民大学講座　講師として「自然環境問題・美しい自然を大切に」

1996 年 12 月　福岡市早良区役所：さわら市民フォーラム　パネラーとして「室見川を考える」

2001 年 3 月　春日市国際交流協会主催：世界市民講座　コーディネーターで「ドイツ他・ゴミ事情」

2002 年 12 月　大川市主催：環境セミナー　講師として「自然環境問題・体験学習を実施して」

この他、春日まちづくり塾（市主催）の第 1 期生として「人・物発掘プロジェクト」を実施しております。

寄　稿

会員の皆様からの寄稿です

７０００年の縄文杉に逢いに屋久島、コバルトブルーの海で洗礼の種子島。
１２才から７８歳の１２名の地球探索行脚に行って来ました。
かなりしんどい山登りもあり、充実した時間を過ごさせていただきました。
お世話いただいた方、ありがとうございました。
行った方、早く筋肉痛が直りますよう・・・。
お疲れ様でした。

屋久島・種子島紀行
投稿者:植木　康太さん
20 日（金）～23 日（月）

6 時起きで出発。太田、赤坂さんを乗せて空港へ。井上車は湯元、坂口さん連中を乗せて。意外と空いていて 8 時 30 には着いた。康平も順調に合流し、空の人へ。

鹿児島でのぶえさんと合流し屋久島へ。海から切り立った山々が連なり、幻想的な国。環境文化センターで概要を勉強した後、白谷白雲峡でジャブ。菊池渓谷みたいな沢を散策。

死んだ巨木の切り株から子供の杉が育った二代杉を見て宿へ。パパイヤのみに囲まれたひなびた温泉宿で、いい湯を浴び、美味しいビールを飲み、明日の 4 時起きに備え早々に布団へ。

21 日、まだ陽も上がらぬ朝 4 時起床、寝むけ眼でおむすびを抱えてマイクロバスに乗り込む。途中昼のお弁当を仕入れ、荒川登山口へ。かなりの客が来ているのでガイド無しという不安はひとまず消え、行列のトイレを済ませ、トロッコ道を歩き始める。

昔伐採の木こりさんの子供が 100 人通っていたという小杉谷小中学校跡で朝飯をほお張り、コケも生えない石灰岩の白い沢、川をいくつも渡りながらひたすらトロッコの終点、大株歩道入り口に向う。78 歳という最高齢参加者の湯本さんもここまでは何とか無事たどり着く。

大株入り口より、登山道こそ整備されて入るものの、何と大変な登山となり、30 分のウイルソン杉までは全員到着。しかしこれ以上は湯元夫妻はダウン。私もほとんど死に体。で、何度かギブアップしそうになった。

翁杉、大王杉、二つの杉が繋がった夫婦杉、そして約５時間かけて念願の縄文杉にたどり着いた。コブだらけの 7000 年の威容で迎えてくれた。

分かれてすぐラッキョ雨に見舞われ、パーティーはバラバラ。山を知らない素人集団は怖い。しかし、これだけの観光客、みんなと一緒に下山してくれればと、不安を抱えながら、大雨の中、１人でポンチョに身を隠しながら飯にした。みんなに言うと「もののけ」みたい、だって。

屋久島　縄文杉

私と井上、坂口以外はともかくものすごい勢いで下山したようで、予定の半分の時間しかかけていなかったようだ。すっげ～と言うか、あっぶねえ～と言うか、素人は怖い。終わってみればお笑い話・・・。夜の懇親会で笑転げた。

22 日はみやげ物を買い、ジェットフォイルで種子島へひとっ飛び。

長野ひろみさんのお迎え。昼食後、ロケット基地へ。

凄まじい規模と最先端技術を感じさせる資料館を見て、子ども達の希望で海水浴へ。東海岸は太平洋そのもの、台風の余波もあってか大波がドンブラ、ザンブラ。

西海岸へ方向転換すると、鏡の水面。つられて大人達も飛び込み、あったかく、美しい海を堪能した。夜は屋久種五葉守りたいのメンバー4人を交え、美味しく、楽しく、有意義に夜更けまで飲んだ。

三岳という芋や種子島地酒（イモ）の差し入れもあり、浴びた。康平君、ケツが青い、飲み方知らずに潰れた。

北限のマングローブの森

23日、いよいよ最後の日、屋久種五葉に遭いに島を駆け巡った。綺麗な松だ。屋久島に１００、種子島に１～２千と言われているそうだ。いつまでも伸び伸びと育つ環境を保って生きたいものだ。

最後の土産屋によって、港に。

またジェットフォイル1.5時間で鹿児島。新幹線ツバメで八代、そこからソニックつばめで2時間。あとは太田先生のおごりタクシーで田川へ。

太古から宇宙、大自然から最先端、大いなる旅が終わった。子ども達は何を感じただろうか？

最後に、不思議なことが一つ。夜食として貰ったものを非常食代わりにリュックに入れていた5個近くあった「おむすび」が消えた。モノノケ姫の悪戯か？？？

事務局だより

◆ 新しい会員の紹介（敬称略）

４月から８月までに次の６名の方が入会されました。

平　由以子　　専門分野：リサイクル、環境教育
中尾　明、　　専門分野：水質、環境教育、自然観察
波多野　信子　専門分野：リサイクル、環境教育
原賀　いずみ　専門分野：環境教育、市民活動、町づくり
小杉　哲　　専門分野：水質
北森　成治　　専門分野：水質、土壌・地下水、化学物質、環境教育、地球環境問題、環境全般

◆ 定款細則制定報告

当協会の定款56条（この定款の施行について必要な細則は、理事会の議決を得て理事長がこれを定める）に基づき「ふくおか環境カウンセラ-協会定款の細則」を定めました。（平成16年２月15日施行）

細則の内容は、環境カウンセラ―以外の正会員の入会資格に関すること、入会申込用紙の様式、理事・監事の選挙に関すること、会務に対する理事の担当に関すること、委員会の設置に関すること等です。細則の全容は会員宛追って送付します。

◆　NPO 法人環境カウンセラー全国連合会入会報告

平成 16 年 5 月 29 日開催の通常総会の承認を得ていました「NPO 法人環境カウンセラ―全国連合会」への入会手続きを 7 月 29 日に行いました。

入会によって環境教育・環境学習指導者養成セミナ―の開催、事業者部門との協働事業の実施など活動の幅が拡大することが期待されます。

なお「環境教育・環境学習指導者養成セミナ―」の開催については 1 月～2 月に福岡において開催する方向で検討しています。詳細は決定次第ご報告します。

また会員の皆様へは境カウンセラ―全国連合会の本年度事業計画書及び収支予算書を追って送付します。

◆　ホ-ムペ-ジの開設

去る 4 月 8 日、広報部担当の植木康太理事の尽力により「ふくおか環境カウンセラ-協会のホ-ムペ―ジ」が開設されました。ホ-ムペ―ジの内容は、ふくおか環境カウンセラ-協会とは、環境カウンセラ-とは、掲示板、会議議事録、会報、リンク集、メ-ル等です。

掲示板を利用されているのはまだ一部の会員です。皆様大いに利用してください。

http://fukkan.sa-ba.jp/

◆　寄付金へのお礼

８月 5 日、依田　浩敏氏（当協会理事長）から寄付金 92.000 円を頂きました。

会員の皆様へお知らせするとともに厚くお礼申し上げます

◆　会報編集委員及び環境カウンセラー交流会運営委員の募集

「会報編集委員」及び「環境カウンセラー交流会運営委員」を募集しています。

経験不要です。事務局までご連絡ください。

◆　会費納入のお願い

「ふくおか環境カウンセ―協会」は皆様の会費で運営されています。

平成 16 年度の会費の納入が遅れている方には請求書を送付しますので至急納付して頂きますようにお願いします。

◆　編集後記

猛暑も終わりようやく秋らしくなってきました。遅くなりましたが会報第 3 号をお届けします。

予定していた原稿が届かず穴埋めに困ったり、予期しない寄稿に喜んだりしながら何とか発行できました。本号では会員の皆様の積極的な寄稿を促す意味で植木会員からの投稿を掲載しました。

広報活動の重要さを認識して頂き、会報発行に皆様のご協力をお願いします。原稿量がもっと増えれば発行回数を増やすことも夢ではありません。皆様からの積極的な投稿を歓迎します。(武藤)

特定非営利活動法人ふくおか環境カウンセラ―協会会報　　第 3 号

平成 16 年 9 月 20 日

発　　行　　特定非営利活動法人ふくおか環境カウンセラ―協会

発行責任者　　依田　浩敏

事　務　局　　〒818-0110　　太宰府市御笠１-６-１８

TEL/FAX　092-925-5344　　http://fukkan.sa-ba.jp/